



学校だより

伸びゆく子

令和5年12月21日
横浜市立中沢小学校
1月号

相手意識をもって ～たてわり活動や小中交流を通して～

学校長 川又 美貴子

12月になって寒さも本格的になり、いよいよ冬本番を感じるようになってきました。令和5年もあっという間に終わろうとしています。5月に新型コロナウイルスが5類に分類され、コロナ以前のような活動や取組が行えるようになり、1年前にはできなかった、友達と集まったり、向かい合ったり、大きな声で励まし合ったりしながらの学習活動も、今は楽しくできるようになりました。

12月19日(火)の朝は、集会委員会が計画した「たてわり読書」がありました。たてわり班の中でペアを作り、高学年が相手の下級生のことを考えて本を選んで読み聞かせをしました。ゆっくり読んだり、聞き取りやすいように寄り添って読んだり、静かな教室の中で、穏やかな空気が流れていました。



また、その日は旭中学校との小中児童生徒交流が4年ぶりに再開され、中沢小の4年生以上の児童と、旭中の全生徒が参加しました。小4と中2は中沢小で、小5と中1、小6と中3は旭中に集まってそれぞれグループを作り、旭中学校の見学やレクリエーションなどの活動を行いました。どのグループも中学生がリーダーシップをとって活動が進められ、小学生からは「かっこいいな。」「中学生から教えてもらったよ。」などの声が聞かれました。また、中学生からは「小学生って活気があっていいな。」「かわいいな。」などの感想を聞くことができ、それぞれの思いで、交流を楽しんでいる様子を見ることができました。



こうして異年齢の人と関わることで、「自分はこう思っている。」でも「相手はどう思うかな。」と「相手意識」をもってコミュニケーションをとることができます。楽しい活動の中から、相手を意識したコミュニケーションの力を養い、「いろいろな人と関わるって楽しいな。」と思えるように、これからも異年齢交流を大切にしていきたいと思います。

本年も地域、保護者の皆様には本校の教育活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございました。皆様、よいお年をお迎えください。